明日へ向かって

第３学年　　学年だより
令和５年　１１月１０日
第４７号

自分を振り返り
新たな進路に目標を持って
～自己ＰＲカードへの取り組みを通じて～

提出は面接の有る無しによって提出するタイミングが異なる

都立高校	出願時	手続き時（※）
面接試験がある受験の場合	願書とともに提出する	すでに出しているのでなし
面接試験がない受験の場合	この時点では提出なし	他の書類とともに提出する

（※）合格発表の後、必要書類を提出する登校日が設けられる。その時に提出する。

じゃあ、私立志望者はいらないの？？

自己ＰＲカードの中身を見てみましょう。

中学校生活で得たことを整理してみる

自分がこれまでやってきたこと、それによって得たことなどを思い出し、整理してまとめる。

今、自分がなぜこの進路を選んだかを明らかにすること

その学校が良い、その学校のなにが自分の意志や考え、希望と一致したのかをまとめる。

その道に進んだあとのことを、今のうちに考えてみる

結論が出なくてもいい。これを今、考えてみるということそのものが糧になる。

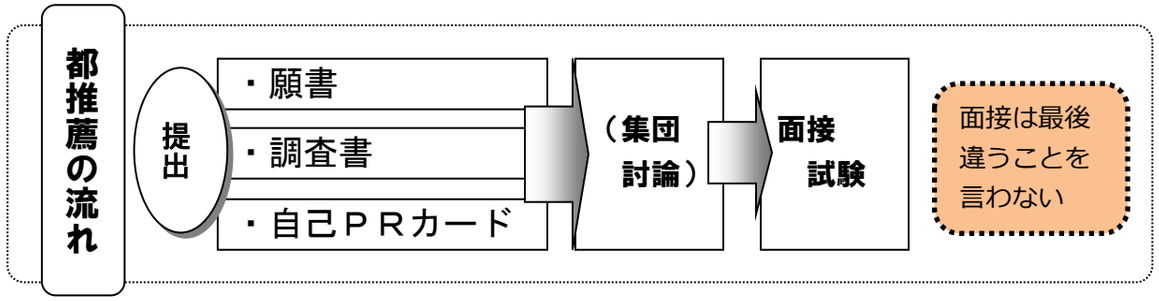
●結局、進路を決めるにあたって必要不可欠なことを考えることになる。
●私立も面接試験がある人なら直接役に立つ内容。
●仮に面接がない私立受験でも、「自分の過去」「現在の考え」「将来の自分」を今、考えて整理することが、次の進路につながる。

都立推薦受検者は、年内には清書を済ませる

都立推薦は、３学期が始まるとすぐに出願が始まってしまいます。

都立推薦ではほとんどの場合面接があるので、自己ＰＲカードは出願時に提出となります。しかし、出願時に間に合えばよいのではありません。

なぜなら、自己ＰＲカードは、面接試験などの時の参考資料になるからです。自己ＰＲカードに書いたことと、面接で言ったことがぜんぜん違っていたら、これはおかしなことです。



従って、自己ＰＲカードはただ仕上げるだけでなく、その内容を良く読み込んで、集団討論や面接の時に、違うことを言わないようにしておく必要があります。

都立推薦を受けず一般一次を受ける人も、学科試験を受けることを考えたら、作成できるものは早めにやっておくことが望ましいです。

私立面接のためにも利用していく

実は、私立の推薦書や調査書、自分で書く志願理由書などの文面も、私立面接の時には参考にされます。自己ＰＲカードでは、都立の場合の「本校の期待する生徒の姿」を参考に書く欄があります。これは、私立の場合の「建学の精神」や「学校の目標」「こんな生徒を育成していきます」などの高校の方針と同じです。自己ＰＲカードの作成を利用して、私立面接で答えることを整理整頓し、しっかりと準備をすることが望まれます。

1　志望理由について

志望理由など、「本校の期待する生徒の姿」（私立の場合は「教育方針」「建学の精神」など）と照らし合わせながら、「なぜその高校なのか」というところをアピールできるように書く。

2　中学校生活の中で得たことについて

「中学校生活の中で得たこと」ですから、自分の三年間を振り返ってみて、まずは自分のアピールできることや印象に残っていることから得たことをまとめる。

3　高等学校卒業後の進路について

「高校に入ってから考える」という人は、「この高校でなら、こんな進路選択ができるのではないかと考えている。なぜなら…」という文面でまとめてみよう。自分の努力目標も合わせて書く。